

なんでも相談会 & インボイス制度個別相談会

要予約 TEL 03-3986-2471

6月のなんでも相談会は、26日(水)13時30分~15時30分まで。30分刻みで要予約。法律相談、税務経営相談です。顧問税理士、弁護士が相談に応じます。インボイス制度個別相談会は26日(水)、7月19日(金)、7月29日(月)10時~16時。40分刻みで要予約となります。



(購読料は組合費の中に含まれています)
定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日



祝 20周年 / とっても元気な / 豊寿クラブ特集

豊寿クラブはシニア世代を中心に、「元気に人生が送れる社会の実現」を目指して活動しています。具体的には、駅頭宣伝や集会への参加などの組合の活動、また様々なレクリエーションを通して会員の交流を図っています。今回20周年を迎えたので、クラブの皆さんのインタビューをお届けします。



昨年開催のバスレクにて

人との出会いに感謝

間辺美恵子 豊寿クラブ会長

人の一生は多彩な出会いの連続です。その中でも人との出会いは生きていく中で絶対に欠かせない存在であると実感しています。今から33年前、私はかけがえのない大切な夫を亡くしました。あまりにも突然でした。どうしていいかわからず、未来を思い感うなか、東京土建の皆さんとの出会いによって、明日を生きる道を見出すことができました。当時、若年無知な私を温かく励まし、応援して下さいました。仲間みなさんに心から感謝しております。ご恩を忘れたことはありません。そして今もなお歳を重ねながら生き生きと輝いて奮闘



豊寿クラブ総会で挨拶する
間辺会長

する皆さんの姿を目の当たりにし、心を揺り動かされ、日々感動と勇気をいただいております。パイタリティ溢れる土建の仲間、みなさんのことが大好きです。

組合から頼られる豊寿クラブ、私たちには誰にも負けない仲間がいます。さらなるステップを目指し、精一杯走り続けたいと思っています。

豊寿クラブの発足、仲間の支え 梨本栄司さん(池袋分会)

豊寿クラブ、初代会長、梨本栄司さん(池袋分会)にシニア友の会の発足当時の様子や、ご自身の現在に至るまでの暮らしの歩みなどを語っていただきました。

2006年にシニアの会が発足し、みんな豊かに幸せに過ごせるようにと願いを込めて「豊寿クラブ」という素敵な会の名前が誕生しました。初年度、出発時の会員数はわずか8人、「もっともっと仲間を増やそうと会員拡大に日々奔走し、本当に大変だった。それでも頑張ってきたのは協力し、助け合う仲間と一緒に手伝ってくれたから」と今は亡き当時の仲間みなさんを偲び、懐かしそうに思いを馳せておられました。

梨本さんは戦後もなく昭和22年頃から大工職人を目指し、厳しい修行を積んで技を磨き、長きにわたり大工一筋、誇りを持って家造りの仕事をしてきました。70歳代になってから体調を崩し現役を引退されたそうです。

子育ても奥さんと仲良く二人三脚、大学に進んだ2人の息子さんの学費を稼ぐためにも一生懸命に働いてきたが、毎日がとても楽しかったと、当時は振り返り感慨もひとしお、熱い思いに溢れました。

そして2年前、最愛の奥さんとの悲しい別れがやってきました。あまりにも急に逝ってしまったそうです。気が動転し茫然とする中、い



ち早く池袋分会のみなさんが駆けつけてくださったそうです。どんなにか心強かったことでしょう。「助けていただき本当にありがたかった」と何度も何度も皆さんへの感謝の言葉を繰り返し、「今でも何かと気遣っていただき元気をもらっています。本当に素晴らしい仲間です」と明かします。6月2日の住宅デーに参加して包丁研ぎの手伝いをして頑張りたいと、93歳になっても梨本さんの夢はまだまだ続きます。仲間とともに社会貢献を目指す見事なまでの生き方に感服いたしております。梨本さんの不屈な精神に乾杯です。またぜひお会いしたいです。(聞き手 間辺美恵子)

日々できることを見つけながら 小林毅さん(南池袋分会)

組織や集団の中で最も大事な事は「人の和」です。同じ目的に向かってみんなと気持ちを合わせられる人が求められます。そこで今回、組合に加入して39年、温かな人柄で定評のある南池袋分会の小林毅さんをお願いして、大工職人になろうと思った経緯や、組合運動への思いなどを語っていただきました。

小林さんは、子供の頃から大工さんに憧れていたそうです。

「大工職人になって、将来きっと自分の手で家を建ててみたいと一貫して思い続け、念願を叶えるために16歳の時に地元の職業訓練所で一年間、大工になるための基礎を学び、17歳で生まれ育った長野県から、集団就職で東京の建設会社に入社、本格的に腕を磨き3年間の年明け、80歳で引退するまでの63年間、大工一筋、懸命に働きつづけてきました。」と、胸を張って仕事への情熱を語る姿が実に清々しく

春の学習交流会と新歓交流会

豊寿クラブよりお知らせ

日時 7月19日(金) 15:30~

場所 としま区民センター 4階 和室

会場 レストラン セゾン

豊島区東池袋1-30-7 ホテルグランドシティB1F としま区民センターの隣(徒歩1分) 17:30~

「悪徳商法とサギ手口の対策」
としま出前講座 豊島区の職員・目白警察署員が講師をつとめ、専門知識や現在の状況を詳しく解説します。年々巧妙になる詐欺犯罪、だれでも被害に遭う可能性があります。詐欺に遭った方は、経済的損失はもちろん、騙された自分に我慢できず精神的に苦しみます。卑劣な詐欺犯罪を許さないためにも、ぜひ詐欺手口の対策を学習して、自分だけでなく周りの仲間に伝えてください。

学習会のあとは新歓交流会も開催します▶

新歓交流会参加費
1人3,000円
ビュッフェスタイルで飲み放題会場は貸切です。(学習会のみ参加の場合は無料)

「前向きに」

石川博子 通信員
さくら分会

夫 英雄が逝ってからもうすぐ2ヶ月になるうとしています。その間、目の前のことに追われ49日忌を何とか子供の力を借りて済ませることができました。その後は役所、保険、年金の事などまだまだやらなければならぬことが山積みです。

夫は大阪の学校を出た後、そのまま建設会社に就職し、私も大阪で長女が3歳まで暮らしました。父が還暦なので戻って欲しいと言われ、工務店に入りました。すぐ長男も誕生し両親との生活は忙しい日々となりました。何年か過ぎた頃、得意先からクリーンルームやシールドルーム施工の話があり、夫は木場に工場を借りその道へ進みました。時代がそうさせたのか、仕事も切れ目なくあり、北海道から八丈島まで飛び回る日々でした。息子は「お父さん今夜いつ来るの?」と聞く始末でしたが、少しも慌てず「お利口にしてたらすぐに会えるよ」と言っていました。香港でクリーンルーム指導の話があり、飛行機嫌いな夫は渋々出かけましたが、帰国後は「今度案内してやるよ」とその気満々でした。

80歳位まで職人と一緒に、車が好きなので運転して仕事をしていました。仕事が一段落した後も巣鴨に帰らず、埼玉の工場ではヤマト、ヤギを飼い、牛乳よりヤギ乳の方が栄養価が高いと言うことで、知人からヤギを借りてきましたが、夫の所へ来て、乳が少しも出ないので、飼い主に返しました。野菜も近所の方に聞きながら珍しい品種に挑戦し、私たちの所へ届けてくれました。

おしゃべりな夫も静かな時がありました。読書をしている時です。私にも10日に1冊ぐらいは本を読むようよく言っていました。

今、夫と一緒に歩いた場所へふらりと行って時の経つのをぼんやり過ごしたり...

遺された私たちに対し、夫からの贈り物は何か?と考えてみると、それは消えることのない思い出です。自由に生きた夫は満足してくれるかしら。「前向きに」、夫の好きな言葉です。わかっているけど、今は無理と心の中で反発し涙がにじみます。

仲間と会いおしゃべりしていると瞬時、夫のことを忘れさせてくれ、仲間のありがたさを改めて感じます。

デー、住宅デーなどにも参加して、微力ですができる限り協力しています。」と話しながら、組合運動の一つひとつに大きな意義があると唱え、頑張る仲間を讃えました。

仕事を辞めてから一年、時間に余裕も生まれ、毎日足腰が弱らないようにと、奥さんと一緒に神田川沿いに往復6キロの道程を歩いているそうです。背筋をピンと伸ばして歩く姿はとて若々しく、お歳には見えません。

今年も住宅デーで大活躍、包丁研ぎの腕前は冴えたるもの、地域の皆さんにも喜ばれ、まだまだ頼られる存在です。

小林さんはこれからの人生、「仲間とおしゃべりを楽しみながら、好きなお酒はほどほどに、日々できることを見つけながら元気に過ごしていきたい」と話します。これからもいろんなことに挑戦しつづけて下さい。そして、南池袋分会にも素敵な笑顔を見せて下さい。(聞き手 間辺美恵子)



心に響き、圧巻でした。
また、組合運動においても「仕事をしながら少しでも協力できればと、毎月行なわれる分会執行委員会に出席したり、拡大行動やメー

各分会とも盛大に開催

住宅デー

違う
分会とも
交流・
協力も

豊島支部の住宅デーは、今年は5月26日、6月2日の二週に分けて開催しました。前半の26日は、上池袋本町、南池袋そして椎名町分会が、後半の2日はさくら、かなめそして池袋分会が開催しました。26日は終日好天で、3会場ともに盛況でした。2日は、終日雨の予報でしたが、午前中は陽も差して天気が崩れず、午後1時半を過ぎて急な雷雨に見舞われましたが、3会場中2会場は屋内での開催で特に問題ありませんでした。唯一屋外の公園

で開催していた池袋分会も、予報と頭上の雨雲に気を配りながら1時過ぎには撤収を開始し、研いだ包丁の受け取りには、隣の図書館の軒先を借りて対応しました。

年々、梅雨の影響が前倒しに早まって来ており、豊島支部ではここ数年、5月の最終週の日曜日に住宅デーを開催していました。しかし、今年の最終日曜日は26日で、拡大月間の追い込み時期と重なることから、26日にするか翌週の2日にするかで実行委



椎名町分会



さくら分会



南池袋分会



上池袋本町分会

員会でも意見が分かれ、2週での開催になりました。

今年の春の拡大は、新年度における事業所の新入社員が組合加入してくれて、仲間づくり運動の追い風になる例年とはやや様子が違い、月間当初での事業所の動きは明らかに鈍いものでした。しかし、そうした逆風を押しつけて成果を積み重ね、全分会が拡大目標を達成したうえで住宅デーに臨みました。拡大訪問では住宅デーへの参加協力を呼び掛けて、各会場では初めて住宅デーに参加する組合員やその家族も見られました。椎名町分会では、組合員の家族知人、協力企業のスタッフも合わせて総勢41人で開催しました。また、2週に分かれたことで、違う週で開催した他の分会へ

手伝いに行った仲間もいました。特に上池袋本町分会は、昨年の秋の住宅デーや年末の餅つきに手伝いに来てくれたことへのお返しとして、かなめ分会へは若林分会長と高木さん、遠藤副委員長が、池袋分会へは青山さん、宮本委員長が終日手伝いに来てくれました。かなめ分会へは女性の会からも竹鼻会長と伏見事務局長が手伝いに入り、女性の会の宣伝も兼ねて先日のバザーの残りを出店しました。

南池袋分会では、同じ分会の仲間が隣の公園で開催するイベントと連携して、多くの子供たちを会場に呼び込みました。

組合外の企業や団体、分会同士の協力で、豊島支部住宅デーは、進歩し続けています。

女性の会でバザー開催 署名の協力や新たな繋がり

竹鼻三枝通信員 女性の会会長 事業所分会

女性の会では、もっと子育て世代の会員たちにイベントに参加してほしいとの思いから、子供服をメインに5月12日に支部会館でバザーを開催しました。

開催するにあたり、まずは品物が集まるかが不安でした。組合員だけでなく、会の役員各々がママ友にお願いしたりしました。そして予想外に多くの品物が集まってからは、記名や汚れ等の確認、洗濯、特に玩具をキレイにするのは大変だったそうで、事前準備を担当してくれたメインスタッフのお二人には心から感謝します。

次は当日、人が来てくれるか不安

になりました。ネイル、ハーバリウムボールペン、スクラッチアート、風船コーナー、母の日カーネーション、色々楽しんで貰えたらと企画をそろえて、前日準備スタッフ4人、当日スタッフ9人で万全な態勢をとりました。しかし、当日は女性の会会員より、一般の来場者の方が多かったようで、今後課題を残しました。

5月26日の椎名町分会の住宅デーにベビーサイズを持ってお邪魔させて頂き、「ご自由にどうぞ」と公園に来ているベビー連れの方々に声を掛けました。

「無料?」「可愛い!」と喜んで頂きました。また、翌週のかなめ分会の



住宅デーでも、「バザー用品有ります!」「是非、見て下さい!」と会場である支部会館前を通る方々にお声掛けして、バザー用品を見て頂いている間に、組合や建設業のお話をしたら、署名用紙に署名を頂けたり、「沢山洋服を頂いたから」とお返しにお菓子を持って来てくれた方もいて、バザーをきっかけに何かに繋がるのかもしれないと思いました。

バザーは準備が大変なので、常設に向けてスタッフの負担が少ない



お客さんと話す竹鼻会長(右下)

形を考えていきたいと思っています。バザー用品、支部にあります!是非、見に来て下さい!